

蕨市多文化共生指針策定に係る市民懇談会（第1回） 議事録

日時	令和2年7月10日（金） 開会：午前10時 閉会：午前12時
会場	蕨市役所 4階 第一・第二委員会室
出席	市民懇談会委員 林大樹、上野梢、荒井紀子、古川小夏、植田富美子、春山忠義、石村宗侑、 ハーティハオ、ドンガナ チャンドラ プラサド、長谷川浩司、鈴木幸義、 小林淑浩、金丸謙二、床次泰文 事務局 阿部泰洋市民生活部長、倉石尚登市民生活推進室長、津田美穂市民生活推 進室係長、鈴木裕長市民生活推進室主査、東裕美子市民生活推進室
資料	資料1 蕨市多文化共生指針策定スケジュール(案) 資料2-1 多文化共生のためのアンケート調査（日本人用）(案) 資料2-2 多文化共生のためのアンケート調査（外国人用）(案) 資料3 外国人住民のアンケート（案） 資料4 蕨市多文化共生指針【骨子案】 参考資料 蕨市多文化共生指針策定について 参考資料1 外国人住民用アンケート調査の項目一覧表 参考資料2 日本人住民用アンケート調査の項目一覧表 参考資料3 外国人住民調査と日本人住民調査の比較 参考資料4 人口統計データ

1. 開会（公開・傍聴希望者なし）

2. 委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

4. 委員の自己紹介

5. 会長・副会長の選出

6. 議題

(1) 今後のスケジュールについて

蕨市多文化共生指針策定スケジュールの概要及びこれからの市民懇談会の流れについて、事務局から説明。

【質疑応答】

(委員) 資料1スケジュール(案)にあります、7月にその他で職員研修が行われますが、「やさしい日本語」研修で対象となる職員の方はどのような方々でしょうか。

(事務局) 窓口がある部署の職員を中心に、「やさしい日本語」で外国の方とコミュニケーションがとれるような研修を、今回、はじめて実施することになっております。

(委員) 蕨の市民懇談会を立ち上げるにあたって、蕨市としては（外国人住民が）増えて欲しいということなのか教えて頂いて、この会をスタートして欲しいのですが。

(事務局) 蕨市にお住まいの外国人の住民の方と日本の住民の方が、コミュニケーションを良くして、一緒になってまちづくりが出来るよう、関係を整えていきましょう、という方向性を出すために、皆さんからご意見をお聞きする会であるのご理解ください。

(2) 市民意識調査（日本人・外国人）に関する内容及び表記などについて
市民意識調査（日本人・外国人）に関する内容及び表記などについて、事務局から説明。

【質疑応答】

(委員) 市民意識調査の日本人向け問9については、出来れば蕨で既に共生が始まっているコミュニティのまち蕨を、どうこれから一緒に盛り上げていくかのような施策も入ると良いと思っています。具体的には広報紙で、地域で交流している事例の紹介をして頂くとか、今までの一時的な交流・文化の理解というだけではなくて、既に一緒に生活していく上での理解・促進が必要と感じており、そのためには、例えば、町内会の役員に、外国人の方が入っている町会もあると聞いております。そういう良い事例の面が強化されていくと市民の多文化共生への意識が高まっていくと感じますので、そうした項目も問9の回答の中に入ると良いかと感じました。

(事務局) ご意見として承ります。

(委員) 外国人の調査票を取る場合の標本をどうするかという事と、聞き取りをどのような方法でするのかをお聞きしたい。

(事務局) こちらの調査につきましては、実施を10月の上旬を予定しております。対象は日本人1,000人と外国の方1,000人で合計2,000人を考えております。外国の方につきましては、住民基本台帳に登録されております18歳以上の外国の方で、(外国人住民の)国籍の比率に合わせて配布しようと考えています。蕨の場合ですと中国の方が64%、その次にベトナム、韓国となっておりますので、例えば、1,000人の64%で640人が中国の方、次がベトナムで9.9%なので100人近くがベトナムの方という形で抽出していこうと考えています。配布方法につきましては、行政連絡員の方たちに依頼して、郵便受けに投函する形を取りたいと考えております。

(委員) 日本語のおぼつかない方に、調査票の内容をどうやって理解して頂けるのか。

(事務局) 日本語を読むのが難しい外国の方の為に、やさしい日本語でわかりやすい日

本語を作っていこうと思っております。また、やさしい日本語自体が、読めない方もいらっしゃると思いますので、そこは、調査票を多言語で英語とか中国語とかハングル語とか、何カ国語を多言語で作ってそれを合わせて、送付することを考えております。

(委員) 問11からはじまる教育と子育てについての質問が多いと思う。教育と子育ての質問は、問11から問20までと多く、それだけ重視されていると思うので、このテーマをしっかりした標本の設定が必要である反面、回答が得られないとせっかくこれをやっても勿体ないことになる。というのも、問11から問20まで答えるのが20歳以下の子どもがいる方です。一方、そうでない方のほうがむしろ全体としてはずっと多いはずなので、年齢構成を見ると、20歳以下の子どもがいない方にとっては、意味がないというか情報が得られない部分になる。ここで、先ほど国籍の分布に応じてサンプル、標本数を調整すると説明していたと思うが、統計的にはそれでいいかもしれないが、それを行った場合に、人数の少ない国籍の方で、さらに20歳以下の子どもがいる方が、また少なくなるので、人数の少ない国籍の方でも教育と子育てについて、どのような実態であるかというデータが欲しいと思う。ですから、今のまま調査票を配っても、少人数のデータが得られなくなったらもったいないので、そのあたりをシミュレーションというか家族構成自体はわかるので、子どもがいる方のところに送るとか、子どもがいる方のところから抽出して送るとか、何かそのあたりの抽出の仕方を十分検討して、重視されているテーマに有効な回答数が得られる事を期待したいと思います。

(委員) 今のご質問でございますけれども、確かにその通りで、比率で中国の方ばかり取るというのではなくて、やはり、少ない外国人のご家族の中にも教育問題を抱えているところも多々あると思いますので、その辺をよく見極めて、調査票に活かしていく、ということをもう一度よく事務局で考えて頂ければ良いと思いますが、いかがですか。

(事務局) 抽出条件につきましては、家族構成を含ましながらピックアップしていきたいと思っております。

(委員) 回収率が重要だと思う。1カ月くらい一回期限をきって、回答が無かったら違う方にもう一回やるとか、何とか回収率を本当に手間がかかると思うのですけど、せっかく素晴らしい内容だと思いますので、いろいろな意見、結果が大事だと思うので、繰り返しで出したらもう一度違う人に行ってみるなど試みて欲しいです。

(事務局) やはり、回収率が要になるなと思うのですが、他の市町村等を見ますと、外国の方の回収率というのは、やはり軒並み低くて大体20%程度位です。例えば、個別で訪問して調査票をとったり、いろんな市町村で調査票の回収率を上げる為に工夫しておりますので、委員がおっしゃったとおり、回収率をあげる為に何らかの手は打っていこうかと考えております。

(委員) 私が一番関心あるのが、蕨市に住んでいる外国人の方が、どういう手段で自

分の国との情報を入手しているのか、ひとつはインターネット等、何かそういう項目を聞きたいと思う。

(事務局) 外国人の調査票を御覧頂ければ情報についての項目があります。具体的には、問21の「あなたは生活に必要な情報をどのように知りますか」というところで聞いており、テレビ、ラジオ、SNSの回答を掲げています。

(委員) 私は、経済と雇用の観点から質問項目のご提案ですが、外国人の方で、買い物というものはどこでされているのか。仮に買い物をされるとお答えになられた方には、例えば「商店街」ですとか、「個人のお店で買っている」とか、「スーパー」ですとか。また、飲食の観点でいうと、「市内で飲食したりするのですか」とか、飲食する場合は、「イタリアン」、「和食」とか、業態も含めるほか、お店に行く場合は「外国人経営者の方」なのか、「日本人の方が運営しているチェーン店」とか、そういう情報が頂ければと思います。もう一点、雇用という観点から、仕事という項目の中で勤務地など、蕨に住まわっていて「どこの勤務地ですか」とか、業種で製造業であったり、建設業であったり、小売りであったり、そういったところもお聞きしたいですし、そこのお勤めになっている企業さんの経営者というのが「外国人の方」なのか、「日本人の経営者の方」なのか、そういった情報も頂ければ、今後、私共が展開する経済対策であったり、雇用対策にも繋げられるかと、ご検討頂ければと思います。

(事務局) 今回の調査票の中では、暮らしについての中で、買い物という項目がありますが、実際「どういうところで買い物をしているのか」、「どのような食事しているのか」、そのような質問はありません。また、今回、業種ではなくて、仕事の立場について聞いておりますけれども、「どこで働いているのか」、「蕨市内」、「近隣市」、「都内」なのかもありませんので、質問全体のバランスを含めて検討したいと思います。

(委員) 私は、去年の住民交流事業『みんなの広場』というところで「防災について」いろんなテーマで行い、外国の方3名にも防災の事に関して経験談をお話して頂きました。その時から、外国人も防災について関心が高いと感じたので、調査票の最後に、防災についてのところで、「防災・災害・地震・台風などの時の困ったこと」という項目を作って頂きたいと思います。

(事務局) ご意見として承ります。

(3) 全庁各課への外国人への対応アンケートに関する調査について

全庁各課への外国人への対応アンケートに関する調査について、事務局から説明。

(4) 多文化共生指針【骨子案】について

多文化共生指針【骨子案】について、事務局から説明。

(5) その他

【質疑応答】

(委 員) 第二回市民懇談会の日程について事務局どうですか。

(事務局) 今、検討しておりますのが9月になります。9月5日土曜日か6日日曜日で、午前中ということで考えております。

7. 閉会